

5 | 3 5 | 0

(包紙)

「上 大谷新九郎」

5 | 3 5 | 1

(包紙)

(

文政貳年卯三月十九日御用日
益物魚類取扱方御決評之趣意書
御町御元々御兼勤築瀬親之助様より
魚座被参候御書付并新九郎其意継キ
魚座参入候との為触出書写し

(書きかけか?)

定

一 益物魚類古来之通

差銀に売買致候魚代

5 | 3 5 | 2

魚座へ口達^{ニ而}被

仰渡之覚

一 魚類益物仕切古来より

差銀売買取引^ニ付仕

切歩無之候所近年猥^ニ

相成候趣相聞候、向後古

法之通取引売買可致候

尤宿支配人共相对取引

^{ニ而者} 売子之もの数

百人之内遠在行又^者

代銀不埒人有之節漁師

とも始魚受買之もの共

難渋之筋も可有之^ニ付

日々仕切銀高売立候日より

四日限之預り書魚座より

宿支配人^江遣し置、右

日限^ニ夫々取立預り書与

代銀引渡遣候様此度

魚座へ被仰付候間
定之外滞銀等有之
候ハ、宿支配人共より成丈
取立魚座へ差出し可申
其上^{ニ而}弥不埒之もの
有之節^者是又魚座へ
及付届魚座より其役手へ
可申達候事

卯三月日